

伊豆山神社



しきみ

- 日吉神社 369.55km - 伊豆山神社 - 浮島稻荷神社 369.55km
- 蓮成寺（若宮寺跡）366.98km - 伊豆山神社 - 伊豆大權現神社 366.98km

詳細

- 日吉神社 369.55km - 伊豆山神社 - 浮島稻荷神社 369.55km

伊豆山神社

祭神 /

伊豆山神（天忍穗耳尊・あめのおしほみのみこと）

拷幡千千姫尊（たくはたちぢひめのみこと）

瓊瓈杵尊（ににぎのみこと）

創建の年代は不詳だが、社伝によれば孝昭天皇の時代（紀元前5世紀～紀元前4世紀）とされる。古くは伊豆大權現（いづだいごんげん）と呼ばれた。

修驗道の始祖とされる役小角は伊豆大島へ配流された折に走湯山に堂を建立し修行した。伊豆山三所権現は、法躰は千手觀音の垂迹、俗躰は阿弥陀如來の垂迹、女躰は如意輪觀音の垂迹とされる。また、空海（弘法大師）が修行した伝承もあるように、多くの佛教者や修驗者が修行を積んだ靈場であった。承和3年（836年）、社殿は現在「伊豆山神社」がある地へ移された。

『吾妻鏡』には、平治の乱の後、伊豆国に流された源頼朝が、治承4年（1180年）、伊豆山権現に源氏再興の祈願をしたとの記載がある。その後、鎌倉幕府を開いた頼朝から、伊豆山権現は多大な寄進を受け、



「関八州の総鎮守」とされて、歴代の將軍の崇敬を受けたとされる。
室町時代には、湯治とともに伊豆山權現を参詣する者が多くみられる
ようになつた。

明治維新の神仏分離令により寺を分離して伊豆山神社と称するまでは、天台宗や真言宗と関わりの深い神仏習合の神社であり、現在地へ遷座して以降は主に、高野山真言宗である般若院の別当寺が伊豆大權現と等しく祀られていた。しかし、勢力間の主導権争いなどによって度々祭神や由緒が改竄されたこと地区全体が有史以来数度にわたって沈下し、山麓の摂社や末社、門前町の一部などは海底遺跡化したこと、神仏分離の混乱や数度にわたる火災などで史料が逸失したこと、などから山の歴史には不明点が多く、調査・研究が待たれる。

静岡県熱海市伊豆山上野地 708-1



日吉神社

日吉神社

祭神 大山咋命 元村社

神社明細帳によれば、

創立年代は不詳であるが、寛文十年九月（約三百年前）享保十九年九月五日（約二百四十年前）等の再建あるいは改築の棟札があるので、古くから祭祀されていたものであろう。元社名山王權現といったが、明治二年十一月日吉神社と改称して、明治四年五月村社に列せられ、明治四十四年五月三十日神饌幣帛料を供進し得べき神社に指定された。

なお当社の古いことを立証するかのように昭和四十三年神社山麓のプール整備工事現場から古代の土器が発掘され目下鑑定中である。

境内神社 奥茂神社（奥の院と称す）

神社明細帳によると祭神大歳神その他不詳とある。いい伝えによると当社の祭神は氏神日吉大明神の御祖神であるので、祭礼の際には必ず、一廻りして本社に御幣を納める慣例になっている。

『弥栄町史』より

京丹後市弥栄町木橋

浮島稻荷神社

祭神は「宇迦之御魂命」「天熊之大人神（合祀神）」。神池の大沼には大小の葦の島が風や流れに關係なく浮遊し、江戸時代には国の数 32 あり、その動きで吉凶を占っていたとされる。沼は白竜湖とも呼ばれ弁財天が祀られている。大円寺『朝日嶽縁起』（1505 年）によると、朝日岳の麓に御手洗の「大富沼」があると記されている。

白鳳 9 年（681）役の小角（役の証覚・役の行者）が弟子の覚道を連れて出羽路に来た折、大谷川（朝日町大谷）のほとりで梵字が記された板碑が流れくるのを見つけ、川をさかのぼり、60 余りの島が浮遊する神池大沼を見つけた。湖畔に浮島稻荷大明神を祀り、弟子覚道を別当（大行院）とし朝日岳修験が行なわれた。建久 4 年（1193）には寒河江荘地頭となった大江広元の進言により源頼朝の祈願所になり、その後も大江家、徳川家、最上家にも祈願所として崇敬された。国指定名勝。

山形県西村山郡朝日町大沼

備考 大行院最上家（宮司）系図の脇書に 730 年に「大沼社を南西の丘に移す」記述がある。



備考

伊豆山神社（伊豆大權現）は頼朝が源家の再興を祈願し庇護していた。朝日町大沼の浮島稻荷神社も源家の祈願所。義経・弁慶一行が滞在した伝説もある。京丹後市の日吉神社の由緒はわからないが、同時期に建立されたのだろう。頼朝の側近で寒河江荘を領地としていた大江広元の作ったしくみといえる。浮島稻荷神社別当の最上家も元々は大江広元の孫が初代。下流の集落大谷には同じ祖先の出雲系土師氏（天穗日命や野見宿禰が祖）を持つ菅原道眞の側室一統が移り住んでいる。

備考（2021.7）

その後、日吉神社の由来がわかり、また私自身の三角祭祀線の考えも理解度が変わったので補足する。京丹後市弥栄町の日吉神社の祭神は、日吉大社の祭神の大山咋命と同じ。しかし、その日吉大社について、最澄が延暦二十四（八〇五）年、唐から帰朝の折に筑紫で最初の天台派寺院たる背振山東門寺を開基。これを比叡山延暦寺に移した時に、その守護神として福岡県那珂川町の山王神猿田彦命を勧請して滋賀県に日枝神社（日吉大社）を創建したと言う伝説が残っている。また、日吉大社では猿を神の使いである神猿（まさる）としています。大和族の支配により大山咋命にすりかえられたのか。すりかえて内々に猿田彦神を祀っていたのかもしれない。

さて、弥栄町の日吉神社だが、境内社の奥茂神社こそが猿田彦神を祀っていると考える。いい伝えによるとこの祭神は氏神日吉大明神の御祖神であるので、祭礼の際には必ず、一廻りして本社に御幣を納める慣例になっている。とある。

そして、この直角の頂点を有するピラミダルな三角祭祀線は、封じるしくみである。伊豆山神社が浮嶋稻荷神社を使って日吉神社を封じていると言える。おそらく丹後国が出雲族の拠点だった時代に猿田彦神を祀る最も大切な神社だったのではないだろうか。

伊豆大權現の桜（朝日町）

■ 蓮成寺（若宮寺跡）366.98km – 伊豆山神社 – 伊豆大權現神社 366.98km



伊豆大權現神社

伊豆国の伊豆大權現（静岡県熱海市の伊豆山神社※明治に改称）の分霊を勧請したとされる。創建年代は不詳だがご神木のエドヒガン桜の樹齢はおよそ700年とされる。ご神体には「伊豆大權現一宇為□□、万年豊穣、安全火盜消除、宮宿村、鈴木長吉」他の御神札には「奉勅進伊豆大權現、諸大眷属開眼、降魔□□、慶応三年丁卯年」と墨書されている。



例祭は4月23日（旧暦3月15日）。火伏、盜難よけ、安産の神として厚く信仰されている。
山形県西村郡朝日町宮宿 1114-6

若宮寺

正平年間（1346～70）五百川若狭が弘法大師の靈感により大日如来を西船渡（現蓮成寺）に祭り、一寺を建立したと伝わります。慶長5年（1600）に上杉勢の五百川進攻の際に全焼。同17年（1612）に配下としていた山野辺城主山野辺右エ門義忠（最上義光四男）が現在地に移転しました。第一世尊孝法印は若宮寺中興の名僧と謳われ、寺の復興に活躍しました。

山形県西村郡朝日町三中 244

蓮成寺（若宮寺跡）

寺の過去帳によると、寛文元年（1661）に法明寺の僧、日延上人が江戸雑司ガ谷に蓮成寺を開いたとあり、300年後の明治28年（1895）に現在地の西船渡に移転しました。日蓮宗。元は若宮寺があったが、慶長5年（1600）の出羽合戦の折に上杉家により焼き討ちされた。

山形県西村郡朝日町三中 635

参考

大朝日岳（朝日連峰・朝日岳）

磐梯朝日国立公園の朝日連峰主峰。『三大実録』には「出羽国の白盤神と須波神に從五位下を授けた」とあり、須波神は朝日岳のことと龍蛇神の諏訪神とされる。大円寺『朝日嶽縁起』（1505年）によると朝日嶽大富權現は、大富權現・女躰權限・子守權現の三處であり、本地佛は、大富權現は弁財天（初顯神は大山祇神）、女躰權現は大日如来（木花咲耶姫命）、子守權現は正觀音で大山祇神の娘溝織姫命であるとする。役の小角が出逢った女神は女躰權現。朝日嶽信仰は執權北条時頼（1246～56）によって千年封じられたまま現在に至る。山形県西村郡朝日町。

備考

大富權現の「富」は出雲族の富族を表すのでは。朝廷が位を授けたのは平安時代の貞觀地震の翌年のこと。過去に朝日岳に対してやましい事実があったことを裏付けられる。



備考

朝日町の社寺については「朝日町エコミュージアム」のホームページで詳しく紹介されていて大変参考になった。また、ちょうど刊行された『朝日町史』も購入でき学術的な情報も得られた。町立図書館には郷土本コーナーもある。

「朝日嶽信仰千年封じ」の歴史が気になって調べていたら、朝日町に伊豆大權現神社があり樹齢 700

年の桜の御神木があることがわかった。さっそく本山の熱海市の伊豆山神社にコンパスを当ててみた。すると、最上川を挟んだ蓮成寺と同距離だった。ただ、蓮成寺の歴史は明治からと新しい。がっかりしたが、よく読むとそこは 400 年前までの若宮寺の跡地だったことがわかった。真言宗若宮寺は正平年間（1346～70）の開創。1600 年、慶長出羽合戦の折、上杉家により焼き討ちされ、後に八ツ沼城近くに再建している。

執権（1246～1256）北条時頼は「奥羽天台宗寺院廃滅令」を発し、松島の円福寺（現瑞巌寺）をはじめ、東北の多くの天台宗寺院を滅亡させた。天台系だった朝日嶽信仰の千年封じも同じ理由だろう。当初、朝日町の伊豆大権現神社の桜は、伊豆=北条家で、千年封じの記念樹かと安易に考えていた。

しかし、若宮寺は千年封じのおよそ 100 年後の室町時代の開創。その伊豆大権現から氣を引くために若宮寺と同距離に分霊を祀ったはずなので、源氏の流れをくみ、元々は、伊豆大権現を本山に持つ寺院だろう。伊豆大権現（熱海・伊豆山神社）も朝日町の浮島稻荷神社も源家の祈願寺であり、伊豆大権現は、朝日岳信仰と同じ三所権現を持つ役の小角開祖。また若宮寺の名前も源氏の守護神八幡神の「若宮」。伊豆大権現の御神木の桜は、700 年前の若宮寺開創の記念樹とも言える。